

【児童への話】

今日は3月4日、今年度の学校生活は、残り3週間となりました。明日、3月5日は節季で言う「啓蟄（けいちつ）」という日です。この「啓」の字には 開く、開放する という意味があり、「蟄」の字には 虫などが土の中に隠れて閉じこもる という意味があります。合わせて、「冬ごもりをしていた虫たちが土の中から這い出てくる頃」という意味の日になります。少し難しい漢字と言葉ですが、覚えておくと少しかしこくなれますよ。

今日はこのあと、千代田区の連合作品展、東京都の公立学校美術展覧会に図工、書写、家庭科の作品を出品した人の表彰を行います。自分の得意なことや好きで続けていることがある人はすばらしいですね。これからも頑張ってください。今、得意なことがないなあという人は、好き嫌いせずに「何でもやってみよう」という気持ちをもってみてください。きっと、好きなことや得意になれることが見付かりますよ。何でも楽しんでチャレンジできる番町の子どもたちでいてください。

【本講話について】

表彰とこの後の児童集会がありましたので、コンパクトな講話を行いました。よく見てみると、啓蟄の「蟄」の字は、『虫が地面の下で幸せに丸まっている』ことをそのまま表しており、とても覚えやすいことが分かりました。昔の人の漢字づくりのセンスが感じられて面白いですね。

表彰では、都の公立学校美術展覧会に出品した児童が代表で表彰状を受け取ってくれました。努力が認められるというのは嬉しいもので、賞状を渡している私までとてもすがすがしい気分になります。「校長の役得だなあ」としみじみ感じる時間でした。